

経営比較分析表（平成28年度決算）

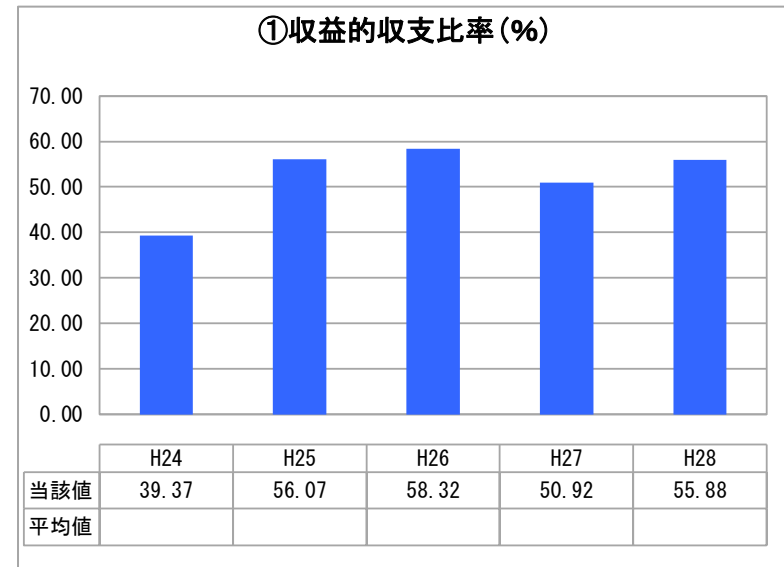
埼玉県 八潮市

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法非適用 | 下水道事業 | 公共下水道 | Bb1 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 該当数値なし | 74.59 | 87.24 | 1,944 |

| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 87,109 | 18.02 | 4,834.02 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 65,288 | 7.82 | 8,348.85 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該団体値(当該値) |
| — | 類似団体平均値(平均値) |
| 【】 | 平成28年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



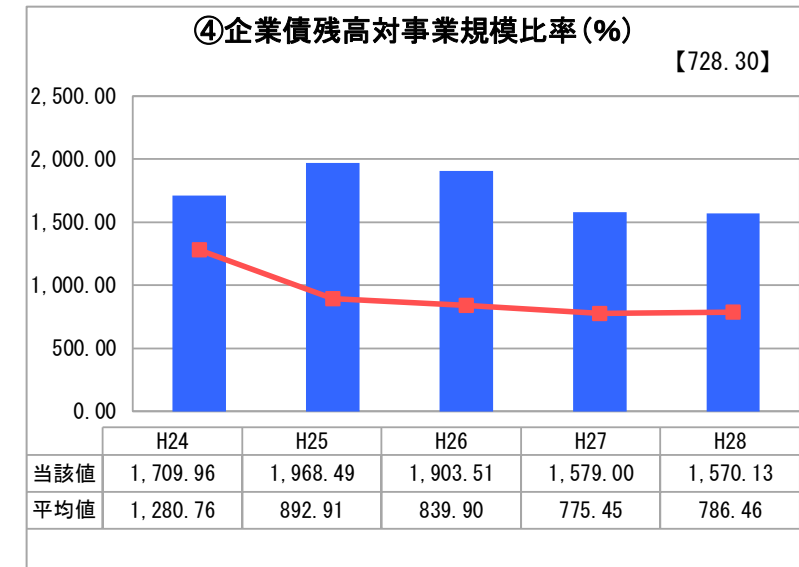
「単年度の収支」



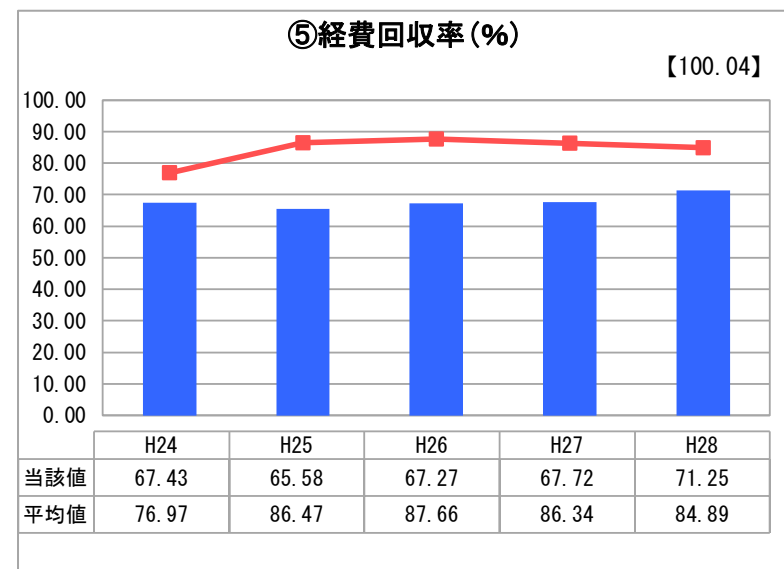
「累積欠損」



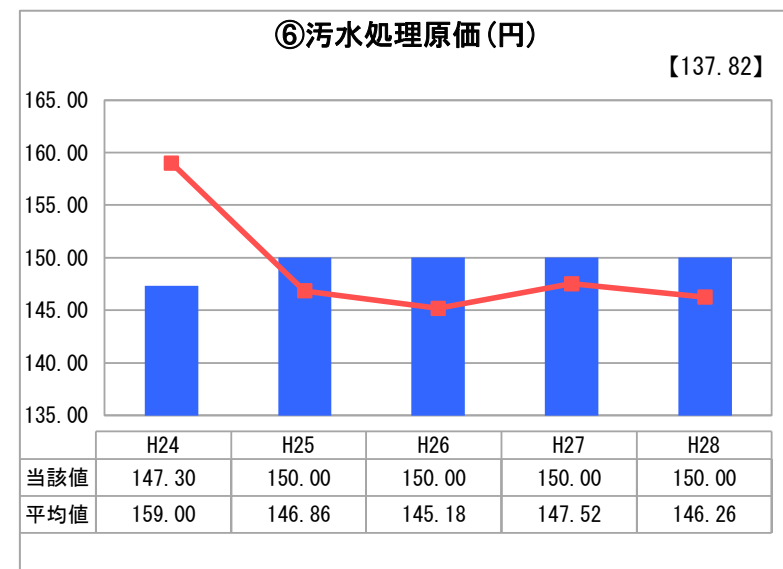
「支払能力」



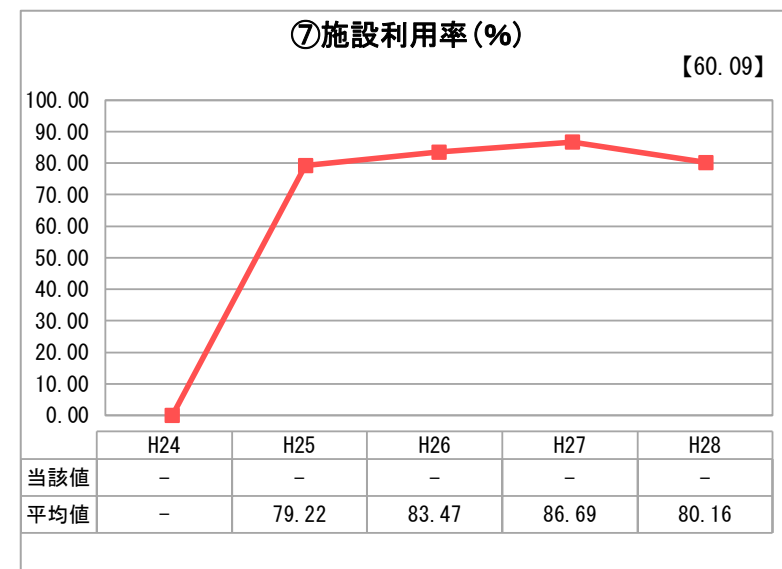
「債務残高」



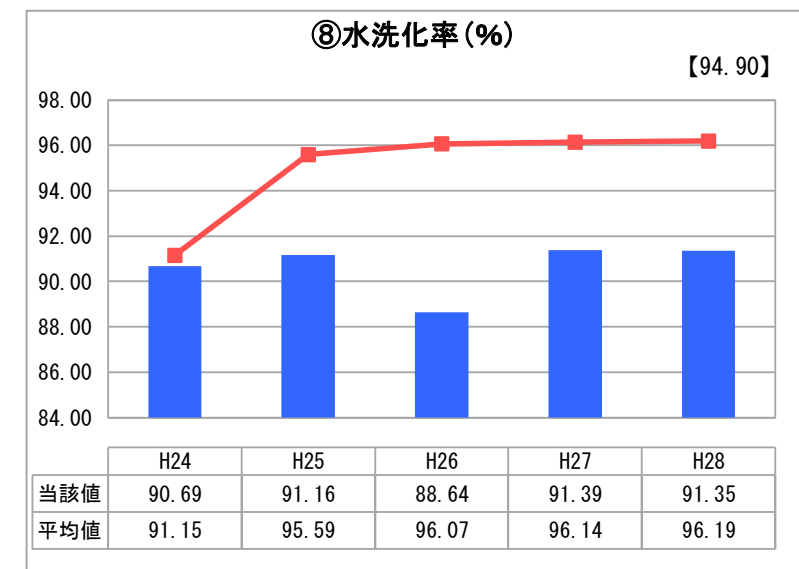
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

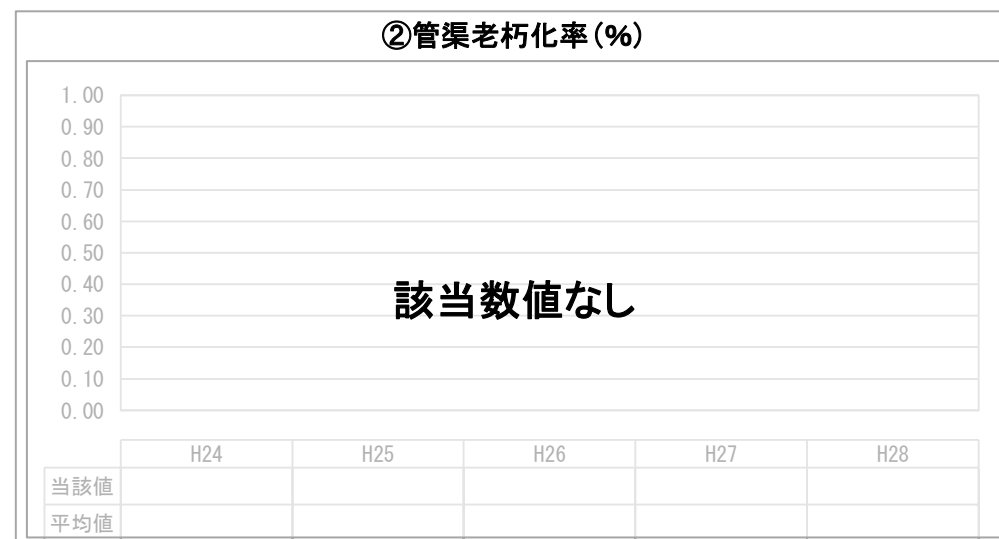


「使用料対象の捕捉」

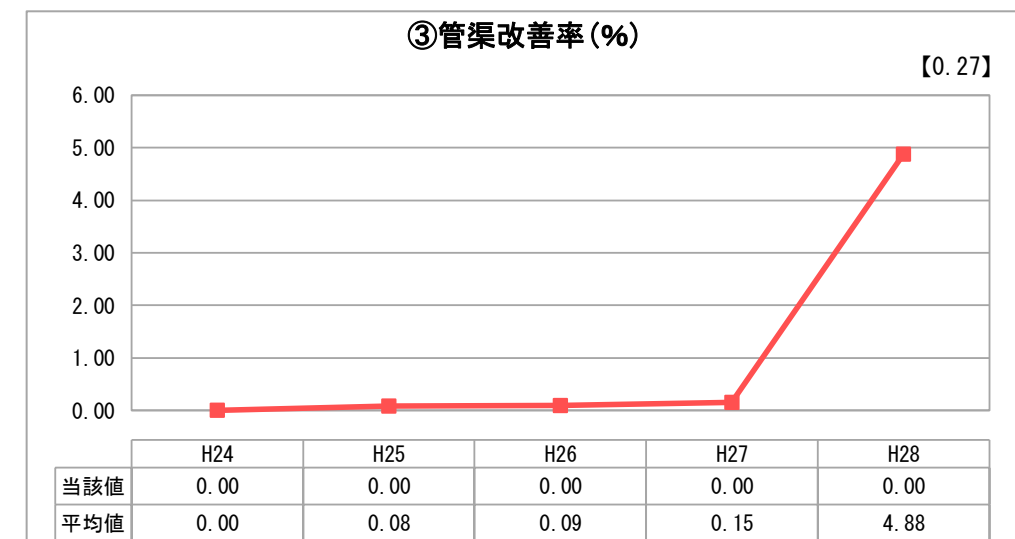
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率については100%未満であるが、平成27年度と比較した場合改善傾向にある。また、平成28年7月に料金改定を行っており経営改善に向けた取組の成果が出ている。

④企業債残高対事業規模比率については、平成25年度からは、減少傾向にあるものの類似団体平均値と比較すると依然として高い数値となっている。その理由として、下水道施設建設のピーク時に借入を行った企業債の償還が続いているためである。改善に向けた取組としては、平成28年7月に料金改定を行っており、その結果として本比率が減少傾向となっている。

⑤経費回収率については、下水道使用料改定の影響もあり改善傾向にあるが、まだ、全国平均と比較すると低い水準にある。

⑧水洗化率については、全国平均より低い数値になっているが、未接続世帯への個別訪問などの啓発活動を継続的に実施しており改善傾向にある。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率
法定耐用年数を経過した管渠はなく、更新投資額については少ない状況にある。

全体総括

現在も下水道の整備を進めていることから、収益は増加傾向にある。また、平成28年7月に料金改定を行っており経営の健全化に向けて取り組んでいる。

今後、経営の健全性・効率性を高めるために、地方公営企業法を適用し公営企業会計に移行することにより、資産等を正確に把握し将来の安定かつ効率的な経営を実現できるよう進めていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。